

## 診断群分類に関する国際会議開催について

松田晋哉他

主旨：診断群分類の国際比較は、我が国の分類の精緻化や医療制度及び医療経済の国際比較などに大変貴重な資料となるものであり、各国の現状などについて意見交換を行う。特に、わが国に先駆けて診断群分類を導入している国における制度の運用状況を、わが国との対比で検討することは、今後のわが国における診断群分類のあり方を考える上で非常に参考になると考えられる。

主催：診療報酬調査専門組織DPC評価分科会、診断群分類調査研究班（案）

場 所　　： 東 京  
日 時　　： 11月中旬

会議次第（案）：

3日間の会議日程で以下の項目について、日本及び参加国の代表者からの発表と討議を行う。また、会議録については書籍としてまとめる予定

1. 各国の医療制度の概要とその中での診断群分類の位置づけ
2. 各国における診断群分類の精緻化の方法論。特に、医療の手間の係り具合の評価と医療技術の進歩への対応の状況
3. 診断群分類に対応した医療情報システムの概要。特に医療情報のIT化との関連
4. 診断群分類におけるコスト分析の状況。特に、病院における標準的な原価計算の仕組みについて
5. 診断群分類と医療の質との関係。特に診断群分類に基づく包括評価制度において医療の質を評価する仕組みの概要について

参加国（予定）：

フランス、イギリス、ドイツ、オランダ、オーストリア、スウェーデン、フィンランド、ポルトガル、アメリカ、カナダ、オーストラリア、韓国、シンガポール